

午後試験

問番号		正解	備考	
問 1	設問 1	a	オ	
		b	ウ	
		c	エ	
		d	オ	
		e	イ	
	設問 2	f	ア	順不同
		g	カ	
		h	エ	
		i	ウ	
		j	エ	
		k	ウ	
		l	オ	
問 2	設問 1	a	イ	
		b	ウ	
		c	ク	
		d	エ	
		e	イ	
	設問 2	f	ウ	
		g	ウ	
		h	オ	
		i	エ	
		j	ア	
問 3	設問 1	a	ア	
		b	エ	
		c	カ	
		d	イ	
		e	オ	
	設問 2	ア		
設問 3	オ			
問 4	設問 1	a	エ	
		b	イ	
	設問 2	c	ア	順不同
		d	エ	
		e	オ	
		f	イ	順不同
		g	ア	
		h	エ	

問番号		正解	備考	
問 5	設問 1	a	イ	
		b	キ	
		c	イ	
		d	エ	
	設問 2	e	ア	
		f	カ	
		g	ウ	
	設問 3	h	イ	
		i	ク	
	設問 4	j	ウ	
		k	エ	
		l	ク	
問 6	設問 1	a	ア	
		b	イ	
		c	イ	
		d	イ	
		e	ウ	
		f	エ	
		g	エ	
		h	カ	
		i	ア	順不同
		j	イ	
	設問 2	k	ウ	
		l	オ	
		m	イ	
		n	ウ	
設問 3	o	カ		
	p	オ		
問 7	設問 1	a	エ	
		b	オ	
		c	キ	
		d	ア	
		e	ク	
	設問 2	f	ウ	
		g	ウ	
		h	ウ	
		i	カ	
		j	エ	
設問 3	k	エ		
	l	オ		

問 1

出題趣旨

業務のシステム化を実現する手段として、ソフトウェアパッケージを利用する機会が多くある。
本問では、実際の業務でも頻繁に発生する承認プロセスを題材に、ソフトウェアパッケージの機能を理解した上で、業務要件に適した機能を選択してシステム化を実施する能力を問う。

問 2

出題趣旨

組織における意思決定において不可欠なりん議書に記載される項目には、案件名、目的、期待効果、予見されるリスクなどがある。また、案件の実行可否を判断する際には、案件の NPV（正味現在価値）が有効な判断材料となる。
本問では、製造設備導入に関するりん議書作成を題材に、適切な業務文書を作成する能力と NPV を利用した実行判断の考え方を問う。

問 3

出題趣旨

利用者 ID やアクセス権の適切な管理は、IT 業務処理統制において必要不可欠な事項である。
本問では、業務システムの利用者 ID の登録及び利用者権限の設定を題材に、与えられたシナリオに潜むリスクを指摘し、さらにそのリスクを制御するための手順を策定する能力を問う。

問 4

出題趣旨

データを分析するには、蓄積されたデータからその分析に必要な部分を過不足なく取り出すことが必要になる。データがデータベースに蓄えられている場合は、適切な問合せを記述してそれを実現する。
本問では、受託業務の実施記録を蓄えたデータベースを題材に、分析に必要なデータを得るための SQL 文を作成する能力を問う。

問 5

出題趣旨

より良い生産管理を実現するには、需給調整だけでなく工場施設など現場の状況を適切に把握し、それを反映させることも必要である。
本問では、オーダスーツの縫製工場を題材に、より精度の高い生産管理を実現するために、作業の進捗状況を記録したデータの推移を調べ、その結果を基に対応策を策定する能力を問う。

問 6

出題趣旨

既存の業務システムを新たな業務要件に対応させるためには、現行システムの構成と新たな要件とを対照して、必要となる変更を整理する必要がある。
本問では、カタログギフトの注文受付管理システムを題材に、新たな要件に対応するために必要となるデータベース構造や処理プロセスの変更点を E-R 図や DFD を使って記述し、新システム的设计へとつなげていく能力を問う。

問 7

出題趣旨

どのような業務システムにおいても、継続的な改善の努力が求められる。
本問では、受注システムを例に、改善の余地を探り、それを基に策定した複数の改善案を評価し、最適なものを選び出す過程を題材としている。その過程で、ロジックツリーによって定性的な分析を体系的に行い、表計算ソフトによって定量的な評価を行う能力を問う。